

献 辞

澁谷昭彦先生を経済学部にお迎えしましたのは、昭和38年のことですが、それ以来今日まで35年以上の長きにわたって、先生は経済学部での教育と研究に情熱を注いでこられ、昨年12月にめでたく満65歳の誕生日をお迎えになりました。

先生は昭和8年に京都市でお生まれになり、中学から以後は大学院まで一貫して同志社で学ばれた生粋の同志社人であります。またそれと同時に、アーモスト大学もご卒業になり、その後イェール大学でご研究を重ねられ、そしてウィリアムズ大学で教鞭をとられるなど、これまで国内外で幅広くご活躍なさってきました。

先生のご専門は、経済成長・経済発展の理論的、実証的研究であり、とくに近年脚光を浴びているニュー・エコノミック・ヒストリーによる、アメリカ経済発展のご研究には、早くから力を注いでこられました。ノーベル経済学賞を1993年に受賞したフォーゲル教授が、京都大学・同志社大学共催の「京都アメリカ研究夏期セミナー」の講師として1968年来日し講義した内容を、田口芳弘先生と共に整理、編纂し翻訳された『アメリカ経済発展の再考察——ニュー・エコノミック・ヒストリー十講——』は、現在この分野における必須文献の一つとなっていますし、また先生がこの度出版される『アメリカ経済発展の数量史的分析』（田口先生との共著）は、わが国における数少ないこの分野での先駆的な書物であります。

また先生は、得意の語学力を生かされ、上記の夏期セミナーを始めとして、日本経済新聞社、京都・大阪アメリカンセンター、京都・大阪商工会議所等の主催する多くの講演、ディスカッションで、通訳をなさってこられました。

このようなアカデミックなご活動の他に、音楽一家にお生まれになった澁谷先生は音楽、とりわけコーラスに長年愛情を注いでこられました。ご自身が学

生時代に所属され指揮もなさった同志社グリークラブの顧問，そして同志社混声合唱団団長，指揮者などの肩書きは，その一端を示すものですし，わたくし共も幾度か先生の美声を聴かせて頂く幸運に恵まれたことがありました．また先生はスポーツも愛好され，大学では課外体育委員長や体育会バレーボール部部长等をつとめられる一方，ご自身は野球のプレーやゴルフなど，今も大変若々しく元気にご活躍中です．

澁谷先生のこれまでの数多くのご貢献とご指導に深く感謝し，わたくし共よりこの記念号を捧げさせていただきます．どうぞ，今後もますますご健康にて，研究に，音楽に，そしてスポーツに精力的に打ち込まれますことを，心より祈念申し上げます．

1999年3月

経済学部長 清 川 義 友